



【令和7年度補正予算（案） 520百万円】

## 国立環境研究所の研究機能を維持するため安全確保・省エネ化対策整備を実施します。

### 1. 事業目的

国立環境研究所つくば本構の有害排気浄化装置や空調設備は、設置から20年が経過し老朽化が著しいため、職員の安全確保及び建物の保安管理並びに省エネ化のため更新整備する。

### 2. 事業内容

国立環境研究所は、幅広い環境研究に学際的かつ総合的に取り組む我が国唯一の研究所として環境問題の解決に重要な役割を果たしてきた。

研究所の設備には設置から20年を経過して故障が頻発し、保守部品の確保も困難になっているものがある。これら設備が正常に作動しない場合、職員の安全が確保できず危険であり、さらに周辺に被害が拡大する恐れ、また、世界的に評価されている研究試料を喪失する可能性などがあるため、更新整備を行う。その際、脱炭素化に資する省エネ化も図る。

1. 有害排気浄化装置（スクラバー）安全確保更新整備（前倒し）
2. 空調設備省エネ化等更新設備工事（前倒し）

### 3. 事業スキーム

- 事業形態 直接補助事業
- 補助対象 研究機関（国立研究開発法人国立環境研究所）
- 実施期間 令和7年度

### 4. 整備イメージ

#### 1. 有害排気浄化装置（スクラバー）



← 装置内部は老朽化が進み、雨水侵入による素材の劣化やモーター異常、配管の漏水等も生じている。

#### 2. 空調設備（ターボ冷凍機）



← ターボ冷凍機は老朽化による劣化が進んでおり、凝縮器や冷水配管等に腐食や漏水などが生じている。